



令和元年 9 月 22 日
帯広開発建設部

利別川における水質事故の発生について（第3報）

～水質調査の結果をお知らせします～

9月20日に本別町に所在する製糖工場から重油が利別川支川のホロナイ川（北海道管理区間）を経由して利別川（国管理区間）に流出する水質事故が発生したところです。

水質事故発生後の20日15時から18時の間に採水を行った水質調査の結果をお知らせします。重油の含有量の指標となる油分は1地点で0.5mg/L、その他の4地点では測定の定量下限値（0.5mg/L）以下となり、環境省が定める排水基準の許容限度値5mg/Lを大きく下回る結果となりました。

なお、帯広開発建設部では引き続き関係機関と連携して重油の回収作業を進めて参ります。

・水質調査結果及び調査位置 別紙のとおり

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部 （電話 0155-24-4102）
公物管理課 課長 松本 一紀（内線 341）
公物管理課 上席管理専門官 米川 高広（内線 373）

帯広開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/index.html>



利別川水質調査結果

河川名		利別川					河川 環境基準 ¹⁾	河川 排水基準 ²⁾
地点名	①ホロナイ川 合流点直下流5m 左岸	②東橋 流心	③高島橋 流心	④池田大橋 流心	⑤川合橋 流心			
現地観測								
調査日	—	R1.9.20	R1.9.20	R1.9.20	R1.9.20	R1.9.20	—	—
調査時刻	—	15:20	16:05	16:40	17:10	17:35	—	—
天候	—	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	—	—
水色 (採水瓶)	—	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	—	—
水温	℃	17.3	17.0	16.7	16.0	15.6	—	—
臭気	—	油臭	油臭	油臭	極かすかな 油臭	無し	—	—
油膜有無	—	有り	有り	有り	有り	僅か有り	—	—
油膜有の場合 範囲	—	左岸に薄く有り	左岸から右岸まで広い	左岸から右岸まで広い	左岸から右岸までまだらに 広く薄い	左右岸に薄い	—	—
魚類 斃死または衰弱 有無	—	無し	無し	無し	無し	無し	—	—
水質分析（公定法）							河川 環境基準 ¹⁾	河川 排水基準 ²⁾
油分(n-ヘキサ ン抽出物質)	mg/L	0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	—	鉱油類≤5

1) 環境基本法第16条に基づき、公共用水域の水質汚濁に係る環境上の条件につき維持することが望ましい基準。

2) 水質汚濁防止法（昭和45年12月25日法律第138号）に基づく、特定施設を設置し、公共用水域に排水を排出する工場・事業所に対しての排水水の規制

